

Handwritten signature or name in the right margin.

軍事極秘

戊集作甲第七號

第五軍命令ノ件通牒

昭和十二年十二月二十七日 臺灣軍參謀長 秦

陸軍次官 梅津美治郎 殿

首題ノ件左記ノ通下達セラレシニ付通牒ス

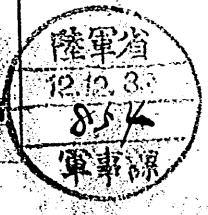
左記

- 一、第五軍隸下各隊ニ對シ
別紙 戊集作命甲第二號
- 〃 〃 第三號
- 〃 〃 第四號
- 二、第四飛行團、獨立飛行第十四中隊ニ對シ
別紙 戊集作命甲第五號



陸

軍



三、軍配屬憲兵、臺灣憲兵隊ニ對シ

別紙 戊集作命甲第六號

四、第五軍隸下各隊ニ對シ

別紙 戊集作命甲第七號

軍事極秘

戊集作命甲第二號

第五軍命令

十二月二十二日十時十分
於枋寮

陸軍省

一、軍ハ大本營ヨリ新ニ企圖セル作戰ヲ中止スヘキ
命令ニ接ス

二、軍諸隊ハ現態心勢方ニ在リテ後命ヲ待ツヘシ

三、予ハ今ヨリ臺北ニ到ル

諸報告ハ在軍艦足柄軍情報集收所ニ送致

スヘシ

諸隊ハ同集收所ニ命令受領者ヲ派遣スヘシ

第五軍司令官 古莊幹郎

下達法

各隊長ヲ枋寮公學校ニ集メテ口達ス

軍事極秘

戊集作命申第三號

第五軍命令

十二月二十三日十八時
於臺北

一、軍ハ臺灣南部ニ兵力ヲ集結シ待機セントス

軍諸隊ノ揚陸地ハ枋寮附近ノ海岸トシ揚陸ノ時機ハ別命ス

二、第十一師團ハ別紙要圖ノ地域ニ宿營スヘシ

當該地域内ニ宿營スル第四飛行團、第一防空隊、軍揚陸作業隊及軍通信隊（一部欠）ノ宿營

ヲ區處スヘシ

三、重藤支隊ハ別紙要圖ノ地域ニ宿營スヘシ

軍豫備隊タル臺灣歩兵第二聯隊ヲ其隸下ニ
復歸ス

當該地域内ニ宿營スル第二防空隊及軍通信
隊ノ一部ノ宿營ヲ區處スヘシ

四、第四飛行團ハ第十一師團長ノ區處ヲ以テ宿
營スヘシ

五、第一防空隊ハ第十一師團長ノ區處ヲ以テ宿營
シ一部ヲ以テ第十一師團宿營地域及枋寮附
近揚陸設備ノ防空ニ任スヘシ

陸

- 六、第二防空隊ハ重藤支隊長ノ區處ヲ以テ宿營
シ一部ヲ以テ重藤支隊宿營地域ノ防空ニ任ス
ヘシ
- 七、軍豫備隊ハ上陸後速ニ重藤支隊長ノ隸下
ニ復歸スヘシ
- 八、軍揚陸作業隊ハ軍諸隊ノ揚陸ニ任シ且該
地ニ所要ノ揚陸設備ヲ行フヘシ
- 上陸後第十一師團長ノ區處ヲ以テ宿營口スヘシ
- 九、軍通信隊ハ第十一師團長（重藤支隊司令部附

- 近ニ位置スル部隊ハ同支隊長ノ區處ヲ以テ宿
 營シ軍司令部ト第十一師團及重藤支隊司
 令部間ノ連絡ニ任スヘシ
 細部ニ關シテハ別命一ス
 十、各部隊ノ宿營ハ幕營ヲ主トスヘシ
 但司令部、本部等ハ家屋ヲ利用スルコトヲ得
 十一、補給及衛生ニ關シテハ別命一ス
 十二、宿營地ニ於ケル軍紀風紀ノ維持ニ關シ特ニ
 注意スヘシ

十三、予ハ臺北ニ在リ

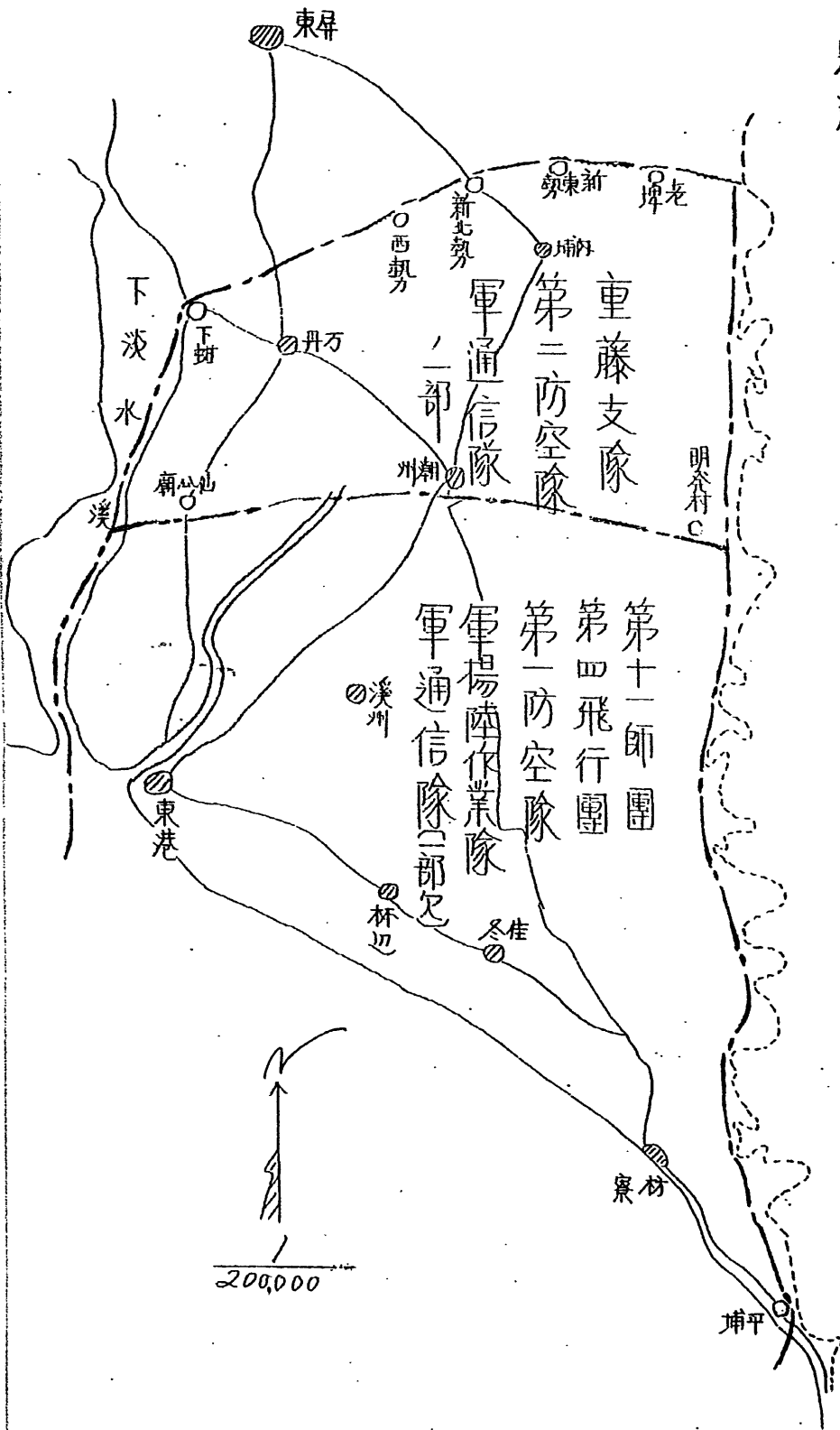
諸報告ハ在臺北軍司令部ニ送致スヘシ

第五軍司令官 古莊幹郎

下達法

豫メ派遣參謀ヲシテ要旨ヲ傳達セシメ
後印刷ナルモノヲ送付ス

別紙 西女圖



軍事極秘

戊集永作命甲第四號

第五軍命令

十二月二十四日十七時
於 壘 北

諸隊ハ軍揚陸作業隊ノ計畫セル所ニ基キ十
二月二十五日ヨリ上陸ヲ開始スヘシ

第五軍司令官 古莊幹郎

下達法

在高雄山本參謀ニ防衛電話ヲ以テ傳達シ
同參謀ヨリ各隊ニ傳達セシム

軍事機密

戊集作命甲第五號

第五軍命令

於臺北 十一月二十五日二十二時

一、九記部隊ハ第五軍戰鬥序列及第四飛行團編

成ヨリ脱セシメラル

獨立飛行第六中隊

飛行第五大隊(第三中隊缺)

獨立飛行第十五中隊

第三野戰航空廠

三、獨立飛行第十四中隊ハ第四飛行團長枋寮附近上陸ト

其ニ其隸下ニ入ルヘシ

三、第四飛行團長ハ獨立飛行第十四中隊ヲシテ屏東ニ位
置シ下淡水溪以東ニ於ケル軍諸隊ノ宿營地ノ防
空ニ任セシムルト共ニ高雄要塞ノ防空ニ協力セシムヘ
シ

第五軍司令官 古莊幹郎

下達法

要旨ヲ電報 後印刷セルモノヲ送付ス

陸

軍事極秘

戊集作命甲第六號

第五軍命令

十二月二十六日十六時
於 臺 北

一 第五軍配屬憲兵ハ在臺間臺灣憲兵隊長ノ
指揮ヲ受クヘシ

二 臺灣憲兵隊長ハ逐次到着スル増加憲兵
ヲ併セ指揮シ現任務ヲ續行スヘシ

第五軍司令官 古莊幹郎

下達法

0294

印刷セルモノヲ交付ス

軍事極秘

戊集作命甲第七號

第五軍命令

十二月二十七日正午
於 壺 北

一、軍ハ依然現態ハ勢カニ在リテ戦力ノ充實ヲ圖リ
將來ノ作戦ヲ準備セントス

二、各隊長ハ部下ノ訓練ニ勉ムルト共ニ人馬ノ
保育ヲ圖リ戦力ノ充實ヲ期スヘシ

三、第十一師團及重藤支隊ハ夫々師團長又ハ支
隊長ノ企畫スル所ニ據リ上陸戦闘ニ關スル
訓練ヲ實施スヘシ

右訓練ノ爲左ノ如ク船舶ヲ配屬ス

第十一師團

屏東丸、銀洋丸、明石山丸

重藤支隊

海平丸、興安丸、伏見丸

四、軍揚陸作業隊ハ第十一師團及重藤支隊ノ

特殊訓練ニ協カスヘシ

協同實施ノ細項ニ關シテハ關係部隊長間

ニ於テ協議スヘシ

- 五、各部隊ハ相互協定ニ依リ勉メテ聯合訓練
 特ニ空地ノ聯合訓練ヲ行フヘシ
- 六、軍隊ノ訓練ハ軍宿營地域内（下淡水溪及宿
 營地東方山地ヲモ利用スルコトヲ得）及枋寮附近
 海上ニ於テ實施シ企圖ノ秘匿ニ勉ムヘシ
- 訓練實施ノ細項ニ關シテハ別ニ指示ス
- 七、予ハ依然臺北ニ在リ

第五軍司令官 古莊幹郎

下達法

8620

印刷
セル
モノ
ヲ
送
付
ス